



子どもとの関わり方 ワンポイント

～子どもに伝わる叱り方～



真生会富山病院診療内科の明橋大二先生が、**子どもに伝わる叱り方について**、次のようなお話をされています。子育ての参考にされてみてはいかがでしょうか。

子育ての中で、「子どもの効果的な叱り方を教えてください」と保護者からよく聞かれます。そのような時、「実は、ほめ方が上手になるだけで自然と叱ることが減ってきます」と伝えています。しかしどうしても叱らなければならぬ時、どう言えば子どもに伝わるか、そのポイントを4つ紹介します。

1. **子どもを止めて、目を合わせて、きっぱりと**
子どもが走り回っている時に遠くから注意しても、子どもは聞いていません。まず子どもの動きを止めて、目を見て「これはいけないよ」と簡潔にきっぱりと伝えることが大切です。
2. **「〇〇してはだめ」よりも「〇〇しようね」**
叱る時は今後どうしたらいいのかをきちんと伝えることが大切です。
3. **『あなたメッセージ』ではなく『わたしメッセージ』**
「あなたはなんて〇〇なの!」など「あなた」を主語にすると、自分の存在全部を否定されたと感じます。伝えるときは、「私はうれしい」「私はかなしい」と自分を主語にして気持ちを伝えると、大人を悲しませたくないという気持ちが働き、素直に聞いてくれることがあります。
4. **注意は根気強い繰り返し**
大きな恐怖感を味わわせて叱ったら自己肯定感をボロボロにしてしまいます。命にかかわることでないなら、とにかく同じことを繰り返し伝えることが大切です。

消さないで あなたの心の 注意の火

広島市南消防署

警防課 救助係



みみょうフェスティバルのお知らせ

今年の作品展のテーマは“いってみよう! おはなしのせかい”です。

5階のホールに物語の世界が広がり、楽しい展示になるように計画しています。

子どもたちの創意工夫満載の作品展を、どうぞお楽しみに!

また、物品販売やみみょう特製のおいしい食べ物もたくさん用意します。保護者の皆様にはお手伝いいただくこともあります。ご家族おそろいでお楽しみください。

日時 10月18日(土)
10:00～14:00
場所 第二みみょう保育園



健康診断

内科…… 2日(木) 13:00～

眼科…… 23日(木) 13:00～

耳鼻科…… 2日(木) 13:20～ (3～5歳)
16日(木) 13:20～ (0～2歳)

内科、耳鼻咽喉科、眼科の健康診断があります。尿・糞虫卵も検査いたしますので、10月の行事予定表に沿って提出してください。また、気になることや園医にたずねたい事などありましたら、事前に担任までお知らせください。

しし舞い 15日(水)

今を去ること約400年前仁保島村一帯に悪病がはびこり、村人が悪霊を追い払うために獅子を作り、一軒一軒まわったといわれから秋祭りの頃に行われるようになったといわれています。

当園には15日(水)に町内の皆さんと獅子がやってきます。



早寝、早起き、朝ごはん

秋の深まりとともに一段と過ごしやうい季節になりました。朝晩の温度差が大きく、早くも風邪をひく人が出てきました。皆さんもお気を付けてください。

当園の教育目標は、「一人ひとりの個性を伸ばすこと」ですが、これには、小さいときからその子の良いところを見つけて伸ばす大人の目と、自分で思ったことや考えたことを実際にやってみることが大切です。

その意味で運動会や作品展、生活発表会は、みんなで同じことをする中で、その子なりに自分の思いを自分なりに表現できるので、とても大事な行事であると言えます。

今月は18日の土曜日に「作品展」があります。運動会を通して、作品展は手や身体を使って自分の思いを表現します。現在保育室では、子供たちが自分でイメージした絵や制作に挑戦しています。

「何かができるより、何かがしたくなる」ように、園では作品展の作品作りには、子どもたちの思っていること、やりたいことを取り上げるようにしています。小さいときから可愛がられ、良いところを認められた子は仲間と力を合わせることが楽しくてなりません。小さいときから話しかけられ、絵本を読んでもらっていた子は、一枚の絵の中にあるいろいろな夢を描くことができます。

お家でも作品展が近づくと、いろいろと園での様子を話してくれることでしょう。しっかり聞いてあげてください。

しかし、最近気になることが2つあります。9月25日の敬老会では、年長組さんが町内のおじいちゃん・おばあちゃんと一緒に交通安全の話を聞きましたが、その間、あくびをしたり、絶えず身体が動くなど、人の話を聞く態度が身につけていない子が目につきました。姿勢の悪さの原因の一つは体力が無いことで、車社会で背筋などの筋肉が未発達なことが考えられます。

あくびの多いのは、夜寝る時間が遅かったり、テレビやゲームにより視神経の疲労により熟睡できないことが考えられます。「早寝、早起き、朝ごはん」は数年前から家庭に呼びかける子育てのキャッチフレーズですが、だらだらと勝手気ままな生活をしていては、集団生活をうまく営むことができませんし、その子の持って生まれた良いところを伸ばすこともできないのではないのでしょうか。このことは5歳児だけの問題ではなく、全ての年齢に共通するしつけの原点だと思います。

広島土砂災害への募金有難うございました。グループ全体で198,021円(第二は31,521円)集まりました。広島市私立保育園協会を通じて、広島市に寄贈します。有難うございました。

園長 松尾龍一